当日入院ソケイヘルニアの手術を受ける方の入院診療計画書

様　　入院日：　　月　　日

特記事項：

症状説明：股の付け根にあたるソ頚部と呼ばれる部分にふくらみを認める状態で、重なり合った筋肉の弱い部分やすき間から腹膜という膜が脱出しています。
人工的なメッシュというシート状のもので筋肉を補強して、脱出しない様にする手術を行います。 入院期間は約1週間です。

主治医：　　病棟責任者：
担当看護師：　　病棟：　　棟　　階

退院基準：①手術部位に異常がない　②麻酔の影響（頭痛や嘔気）がコントロールされている
③創部の痛みがコントロールされている　④退院後の生活について理解できている

	外来	入院･手術当日（術前）（　/　）	手術当日（術後）	術後1日目（　/　）	術後2日目（　/　）	術後3日目（　/　）～術後4日目（　/　）	術後5日目（　/　）退院日
検査・治療・処置	●血液検査 ●胸部･腹部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影 ●心電図検査 ●尿検査 上記の検査を行います。	●リストバンドを付けます ●手術着に着替えます。 □午前手術の場合、左手に点滴用の管を入れます。 □午後手術の場合、10時頃、左手に点滴用の管を入れます。	●手術直後は15～30分毎に検温しますが、その後は1時間毎　夜に検温を行います。 ●創部の観察を行い、必要時交換します。	●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●午前9時頃より医師・看護師の回診があります。 ガーゼの観察を行います。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 ●回診時、傷の観察をします。きれいな傷なら消毒はありません。ガーゼをはずします。	●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 ●回診時、傷の観察をします。	●回診時、傷の観察をします。
薬剤	**●普段内服しているお薬がありましたらお知らせ下さい。** 	●10時頃から点滴を始めます。	●点滴を行います。 ●食後に飲んでいただくお薬があります。 （医師から食事摂取の許可が出た方） ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。	→	→	→	→
安静度・リハビリテーション	●普段通りの生活ができます。	●病棟内歩行できます。	●手術後6時間までは、ベッド上安静です。 ＊帰室6時間後、ふらつきがなく、血圧、脈拍等に異常なく気分不快がなければ看護師が付き添いリハビリ歩行が可能です。	●病院内歩行できます。 →	→	→	→
排泄	●制限はありません。	●制限はありません。	●術後6時間まではベット上排泄です。その後、麻酔が覚めて歩行ができれば、普段通りに排尿できます。	●制限ありません。 →	→	→	→
清潔	●入浴できます。	●手術する部位の毛を剃ります。 ●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯、はずせるものははずして下さい。 ●化粧、マニキュアはしないで下さい。		●体を拭き、パジャマに着替えます。	●シャワー浴の許可がでます。 （術後3日目から） 		
食事・栄養管理		●食事をとる事はできません。 ●特別な栄養管理 （□　有　　□　無　）	●水分・食事の開始許可が出たらお知らせします。 ●帰室2時間後よりむかつきが無ければ水分や食事をとることができます。	●普通食が食べられます。 制限はありません。 	→	→	→
説明・指導・教育	**＜手術の必要物品＞** **コップ、 曲がるストロー、 入れ歯入れ（必要時）**	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。 （主治医・看護師） ●薬剤師から薬の説明があります。 ●手術着に着替える前 （手術室に入室する30分前） 排尿を済ませ下さい。 **※手術室に入室する時刻 （　　時　　分の予定） ※ご家族の方は、 手術が始まりましたら、 A棟5階食堂でお待ち**	**※ご家族の方･ご本人へ 主治医から手術結果の説明があります。 看護師が案内します。**	●麻酔の影響で吐き気が起こる事があります。 ●麻酔の影響で頭痛が起こる事があります。 安静臥床で緩和します。 水分を多めに摂るようにしましょう。 ●手術室看護師の訪問があります	（麻酔の影響で頭痛、吐き気が起こる事があります）	（麻酔の影響で頭痛、吐き気が起こる事があります）	●1ヶ月間は、お腹に力のかかる運動や激しい運動を避けましょう。 ●1ヶ月間は、長時間の正座・立ち仕事・頻繁な階段の昇降も避けましょう。 ●規則正しい食生活を心がけ、便秘を予防するようにしましょう。 ●次回　外来で抜糸します。
サイン							

上記内容について説明を受けました。（署名）　　説明した看護師